

Imaging Team

掲載内容

1) 製品情報

MetaMorph のオプションである DAQ に関して

MetaMorph Offline に関しての Upgrade とメンテナンスについて

Olympus IX83 での電動ステージの設置について

CoolSNAP シリーズの PCIe モデルのインターフェイスカードについて

2) 技術情報

[修正] ORCA-Flash4.0 のインターフェースボードの情報に関して

Zyla - sCMOS カメラのバススロットに関して

MetaPrecisionPC/WM の仕様変更に関して

PC のデフラグメントに関する情報

1) 製品情報

MetaMorph のオプションである DAQ に関して

従来、MetaMorph のオプションとして、外部周辺機器の AOTF の制御及び TTL 信号での On/Off 切り替え(主にシャッターの制御など)を行っていた DAQ ボードの取扱いについて、まとめます。

現在販売している DAQ は 3 種類になります。

「40090 DAQ2000 PCI ボードケーブルキット ￥400,000-」

「40816 8 channel DAQ ボード・NEOS AOTF ケーブルキット ￥550,000-」

「10040 USB-6501DAQ ユニット ￥60,000-」

これらは、ハードウェアとして納期がかかる場合がございます。最新の納期状況などは、各営業担当までご確認ください。

MetaMorph Offline に関しての Upgrade とメンテナンスについて

2012 年 4 月の価格表では、MetaMorph (ハードウェア制御用)と MetaMorph Offline(解析用)のアップグレードに違いがございませんでした。

今回、新しくパーツナンバーと金額を設定しましたので、ご紹介いたします。

MetaMorph Basic/Premier Offline をお持ちのお客様で、最新バージョンまで上げることを御検討頂いているライセンスの場合は下記になります。(すべてのバージョンで同じ金額です)

「MMNXOFFUPG MetaMorph NX Offline アップグレード費用 ￥350,000-」

MetaMorph NX Offline のライセンス所有の MetaMorph Offline の場合は、下記になります。

「5011706 MetaMorph NX 対応アップグレードおよび、アップグレード費用(1年間) ￥180,000-」

現在、お持ちの MetaMorph Offline のメンテナンスや、NX のライセンスの有無に関して不明な点があれば、各営業担当までご連絡ください。

Olympus IX83 での電動ステージの設置について

MD-XY シリーズの XY 電動ステージの従来の IX81 との互換性についてまとめます。

<互換性に注意が必要なモデル>

MD-XY30100T などの MD-XY30xxxT シリーズ(中座タイプ)は、IX81 で御使用頂いていたものは IX83 で、使用される場合は、足(4カ所)の干渉があります。足の部分を外せば干渉はありません。

<互換性があるモデル>

MD-XY60100T や MD-WELL96100T などのモデルは、IX81 で使用頂いていたものをそのまま IX83 で御使用頂くことは可能です。タイプアップ・メンテナンスに関して、改めて御案内致します。また、2012 年 4 月の価格表で、ソフトウェアの構成や現在のバージョンにより、どの内容を手配したら良いかを記載致します。

なお、MD-XY30100T と IX73 の場合はカバーと足で干渉がありますので、設置することが出来ません。

CoolSNAP シリーズの PCIe モデルのインターフェイスカードについて

CoolSNAP HQ などの古い CoolSNAP シリーズをお持ちのお客様の PCI インターフェイスボードの場合、Windows7 に対応するために Firmware のアップグレードが必要です。

新商品として、PCIe タイプのインターフェイスボードが発売されました。定価は 35 万円(税別)になります。

2) 技術情報

[修正] ORCA-Flash4.0 のインターフェイスボードの情報に関して

FY1206 にて、ORCA Flash4.0 のインターフェイスカードは、「PCIe x16」バスの対応ということで紹介させて頂きました。

正しくは、「PCIe x8 もしくは x16」のバスに対応と修正させて頂きます。

Zyla - sCMOS カメラのバススロットに関して

Zyla カメラ用の PCIe バスを使用したインターフェイスボードですが、PCIe x1 では動作致しません。

3 タップの場合は、x4 以上 (x8、x16) に対応しており、10 タップの場合は、x8 と x16 に対応しております。カメラモデルに依り異なりますので、ご注意ください。

MetaPrecisionPC/WM の仕様変更に関して

現在、ご注文を頂き販売しております MetaPrecisionPC/WM ですが、現在の T3500 から次の T3600 への移行準備をしております。(供給元より T3500 の販売中止の時期は未定ですが、既に次の T3600 が購入できる状態です。)

次の T3600 になり、現時点で評価機にて各機材のチェックを始めておりますが、特に問題のあるハードウェア等は見つかっておりません。

ただ仕様変更がございます。T3600 になりますと、COM の数ですが標準が 1 つになります。2 つは選択できませんので、2 つ以上をご希望される場合は、ADD-COM の購入を PC 購入時に合わせ、ご依頼ください。

なお新しい T3600 のバスの数は、下記になります。

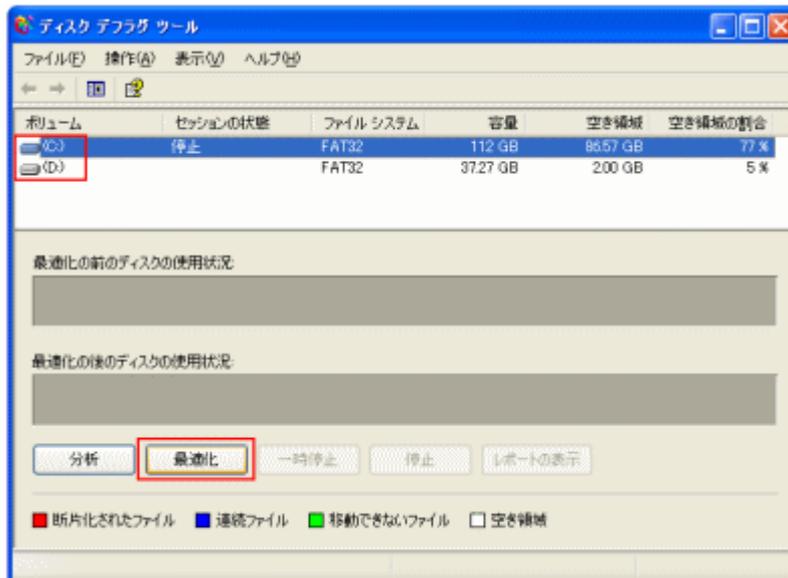
PCI が 1 個、PCIe x1 が 1 個、PCIe x4 が 2 個、PCIe x16 が 1 個になります。

PC のデフラグメントに関する情報

PC のトラブルの一例として、デフラグメントの実施で解決する事例がありましたので、ここで PC のデフラグメントに関して記載を致します。

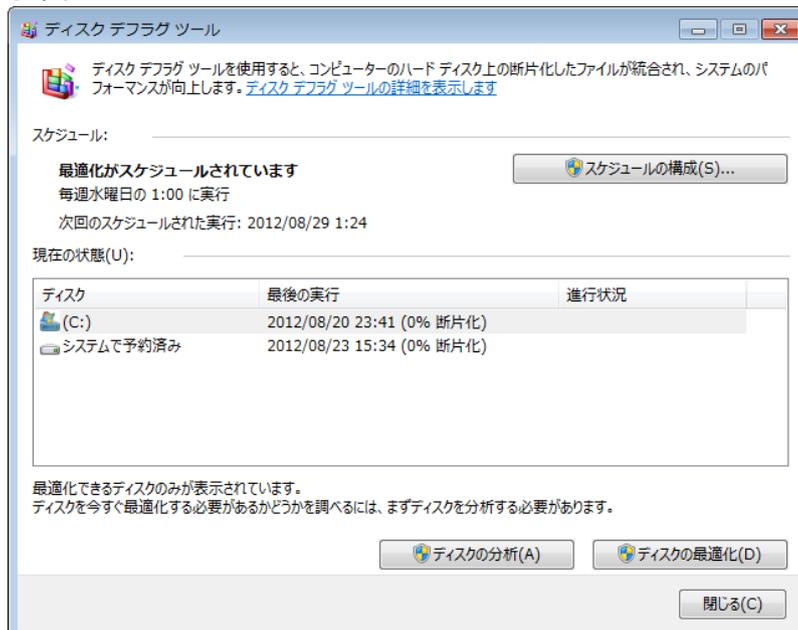
デフラグメントとは HDD 内の保管データの再配置を実施することにより、データの断片化の整理を行い、PC を快適に使用して頂くための作業になります。PC メーカーの話では、ごく稀に、断片化が酷く整理が実施されていない場合、システムデータが圧縮されることがあり、OS が起動しなくなることもあるということです。PC は定期的なバックアップとデフラグメントをお勧め致します。

デフラグメントの実施方法ですが、Windows XP の場合、スタートメニュー、アクセサリ、システムツールの中にディスクデフラグがございます。最適化をクリックし、各 HDD ごとに実施が必要です。



なお、HDD の空き容量が 15%以下になりますとデフラグメントの実施が出来ない場合がございます。

Windows7 の場合も同様です。下記から最適化をクリックします。(ウィンドウの表示が異なります)



以上